



学校教育目標 「たくましく 心豊かに」

～言語力を向上させ自分のよさや可能性を最大限に伸ばし、
「共生・共育」社会を実現する担い手として自ら考え、判断し、実践できる人を育てる～



【 目指す子ども像 】

- 自ら人とかかわり、思いやりのある子
- 自ら考え、判断し、表現できる子
- 自ら心と体を鍛える子
- 自ら遊び、自ら学習する子
- 人や状況に、しなやかに対応できる子

学部	幼稚部 3歳～5歳	小学部	中学部	寄宿舎
スローガン	伝え合い遊びが広がる元気な幼稚部	伝え合い学び合う心ときめく小学部	学び合い高め合う中学部	助け合い集団生活を楽しむ寄宿舎

切れ目ない支援体制の構築

支援部 つなぐ・つながる支援部

乳幼児教室 0歳～2歳

通級指導教室 小学生・中学生

教育相談 0歳～18歳

【 令和7年度の目標具現化の柱 】

「いきいき」とした生活、「わくわく」する学び、「しなやか」な心を育む学校

家庭、地域、関係機関、生活等の「モノ・コト・ヒト」との連携



東京 2025 デフリンピックに関連した教育活動

「いきいき」

互いの良さを認め合い、安心した生活を送ることができる学校

- 自分とは異なる意見も認め、互いの考えを交換し合う教育活動の充実
- 自分の身は自分で守るための、防災教育、安全教育等の体験的活動実施

「わくわく」

伝え合い、豊かに表現し、学び合いのある学校

- 障害の特性を踏まえた支援の充実と「分かる」授業の実践
- ICT を効果的に活用した基礎学力の定着と、主体的に学び合える授業づくり



「しなやか」

つながりを深め合い、自分らしさを発揮できる学校

- 乳幼児教室・通級指導教室・相談室の、連携・信頼を基にした支援の充実と積極的な情報発信、ニーズにこたえる支援の実施
- デフリンピック出場選手との交流、デフリンピック競技や国際手話等、デフリンピックに関連した教育活動の実施



【 目指す教職員像 】

互いの考え方の違いを認め合い、学び合える教職員